

平成29年度内閣府支援事業

第3回相模原市公民連携地域プラットフォームセミナー

資料4

相模原市の今後の取組等  
**公共施設マネジメントの取組について**

平成30年2月21日

相模原市 企画財政局  
企画部 経営監理課

# 主な内容

- 序． 公共施設マネジメントとは
- 1． 本市の公共施設の状況
- 2． 本市の公共施設マネジメントの取組
- 3． 今後の取組の方向性

# 序. 公共施設マネジメントとは

## 公共施設マネジメント

**公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うこと**

これにより…

- **公共施設等の最適な配置を実現**
- **財政負担の軽減・平準化を図る**

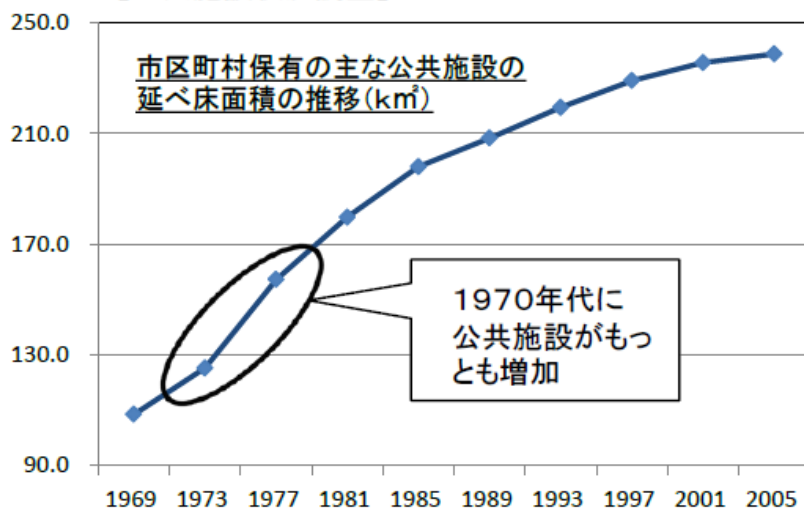
# 序. 公共施設マネジメントとは

## 背景

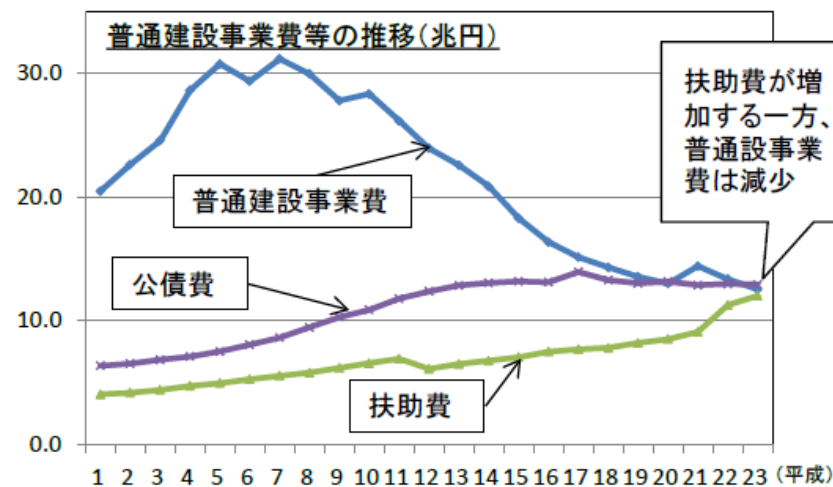
- 過去に建設された公共施設等がこれから大量に更新時期を迎える一方で、地方公共団体の財政は依然として厳しい状況にある。
- 人口減少等により今後の公共施設等の利用需要が変化していく。
- 市町村合併後の施設全体の最適化を図る必要性がある。

公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要。

【公共施設状況調査】



【地方財政状況調査】

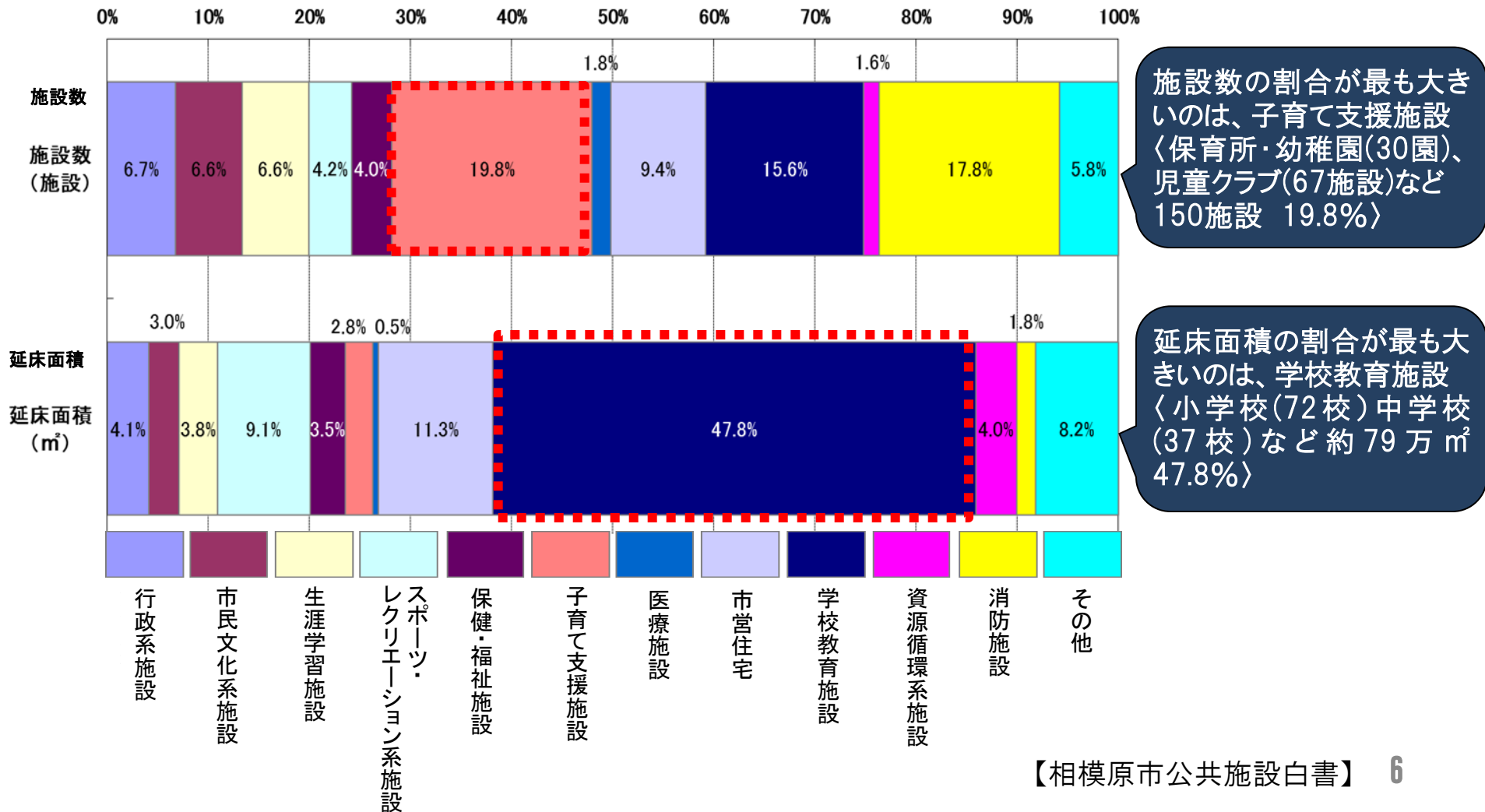


# 1. 本市の公共施設の状況

# 1. 本市の公共施設の状況

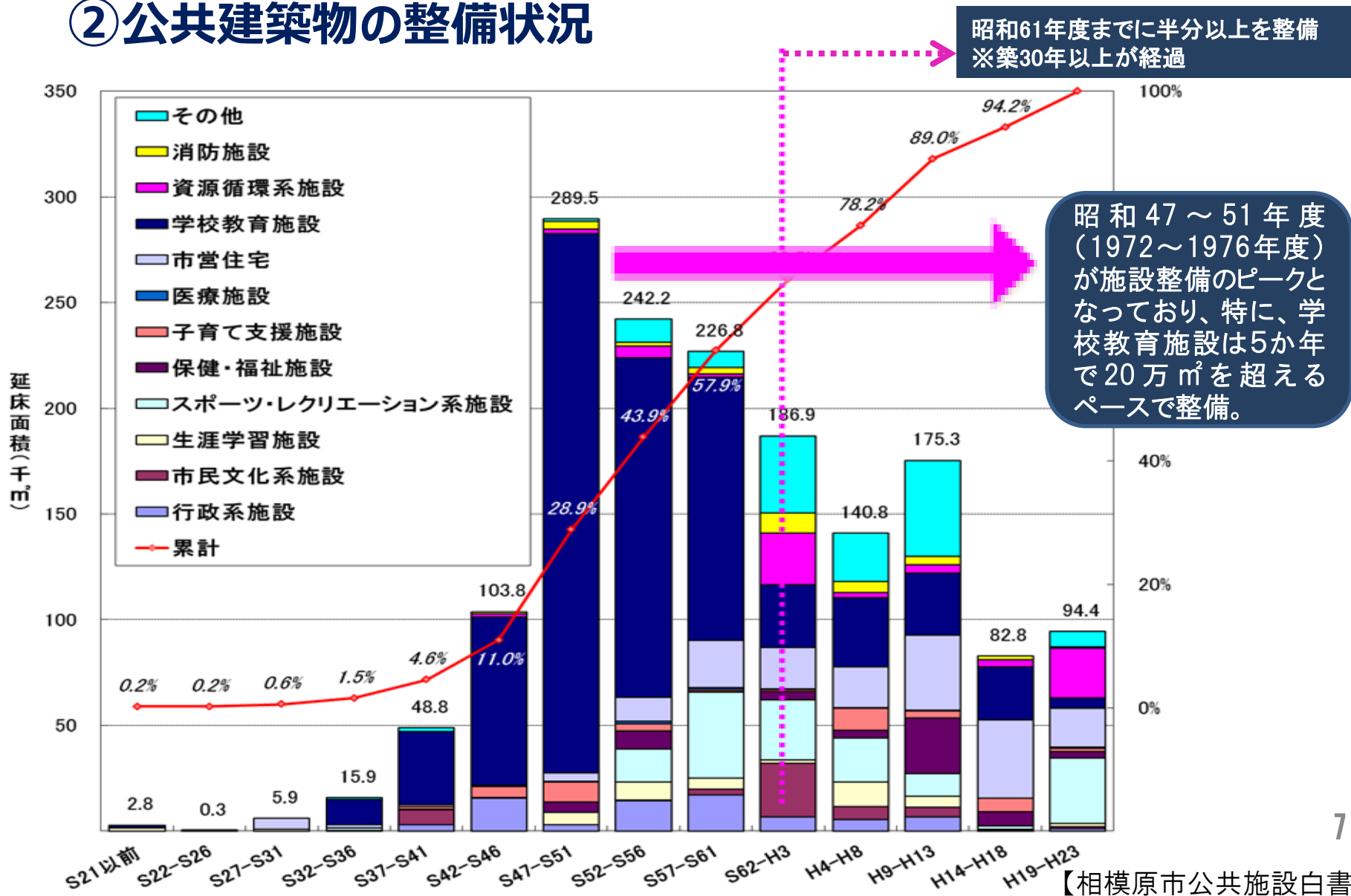
## (1) 公共施設 (公共建築物)

① 保有状況 施設数: 757施設、延床面積: 約165万㎡ (※民間等所有約3.75万㎡含む)



# 1. 本市の公共施設の状況

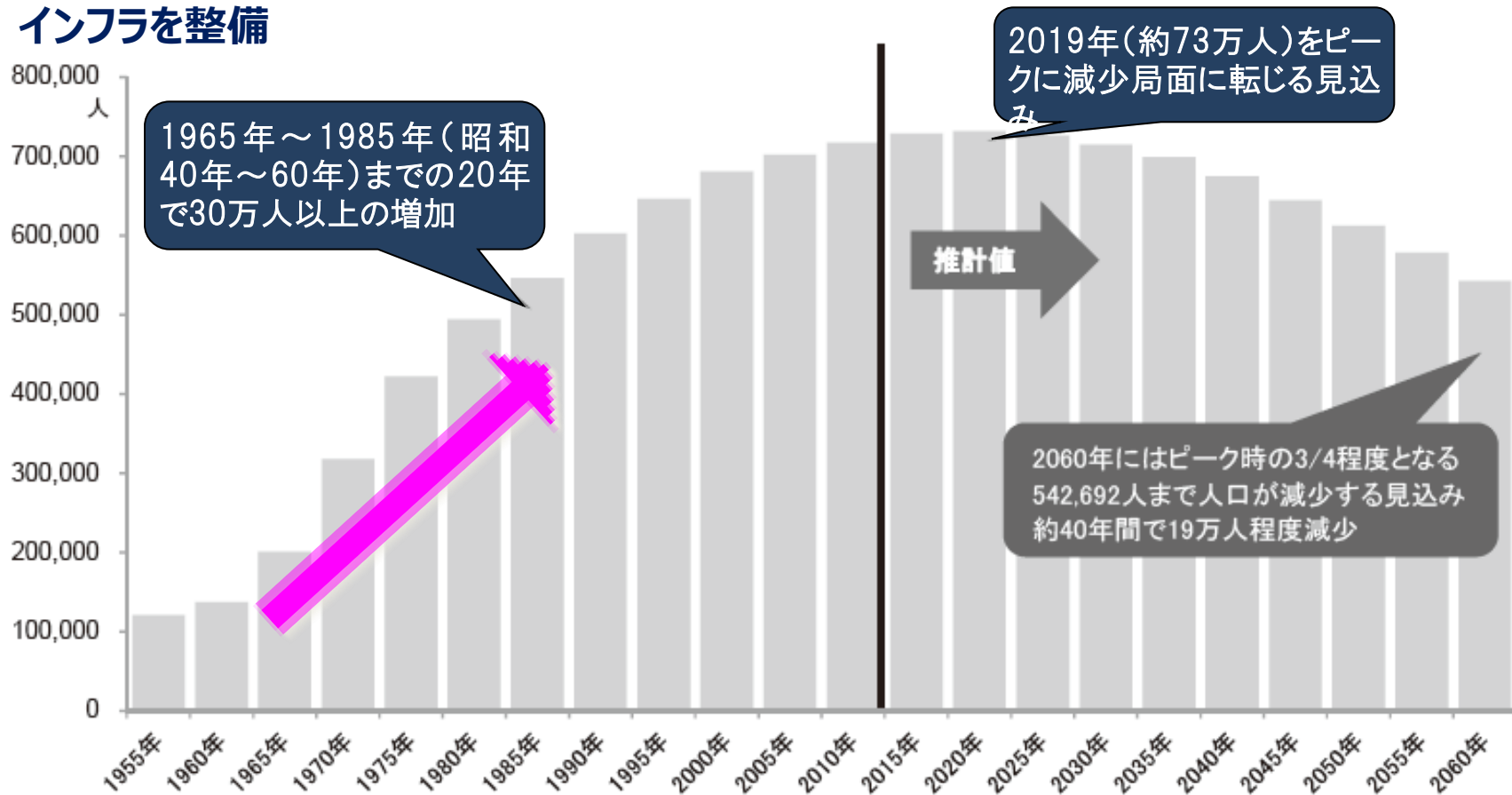
## ② 公共建築物の整備状況





# <参考> 本市の人口推移と将来人口推計

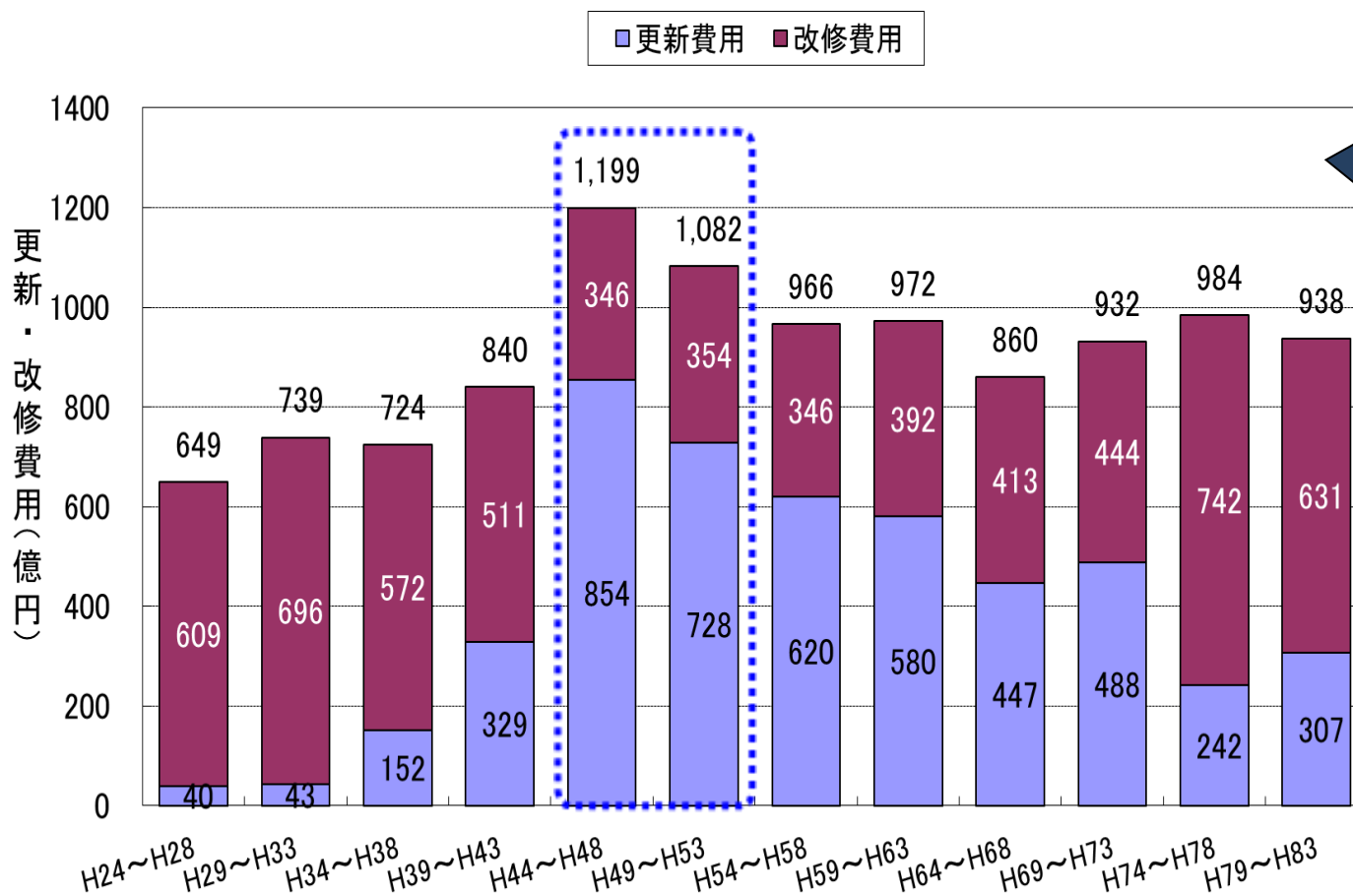
- ・昭和40年代（1965年～）から人口が急増  
（1965年：約16万人⇒1985年：約48万人）
- ・小中学校などの公共施設や道路・下水道などの  
インフラを整備



# 1. 本市の公共施設の状況

## ③ 将来コストの試算（公共建築物）

- ・過去に整備した公共施設がこれから大量に更新時期を迎える
- ・平成44～53年度(2032～2041年度)が改修・更新のピーク
- ・事業費ベースで年間約230億円かかると試算



一般財源ベース(補助金・市債等を除いた市の支出分)で試算すると、ピーク時には6割程度の施設しか改修・更新ができない。

# 1. 本市の公共施設の状況

## (2) 土木施設

### ① 保有状況 (主な土木施設)

主な土木施設	数量
舗装道路	総延長約2,401Km(市道、市が管理する国・県道)
橋りょう・横断歩道橋	677橋
トンネル	9本(洞門2箇所を含む)
河川(護岸・河道)	17.6km(準用河川である鳩川、姥川、八瀬川の管理延長)
下水道	管路約2,804km

この他にも、ペDESTリアンデッキ、交通安全施設(道路反射鏡や道路照明灯など)、街路樹、横断施設(アンダーパス、ボックスカルバート)、下水道のポンプ施設や雨水調整池などの施設がある。

【相模原市道路施設長寿命化修繕計画】

【相模原市橋りょう長寿命化修繕計画】

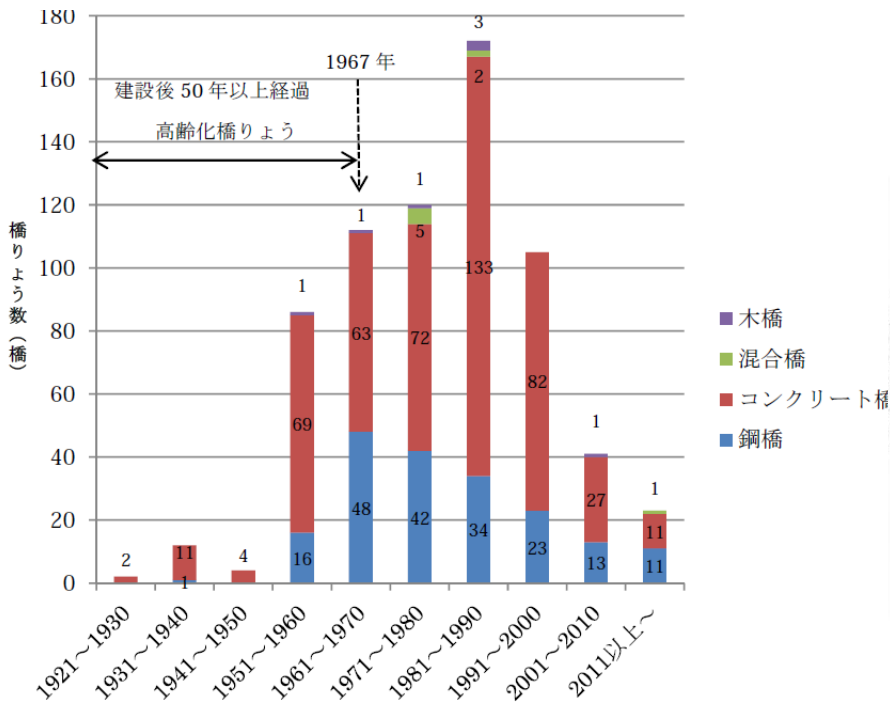
【相模原市河川維持管理計画】

【相模原市下水道施設維持管理計画】

# 1. 本市の公共施設の状況

## ② 土木施設の整備状況

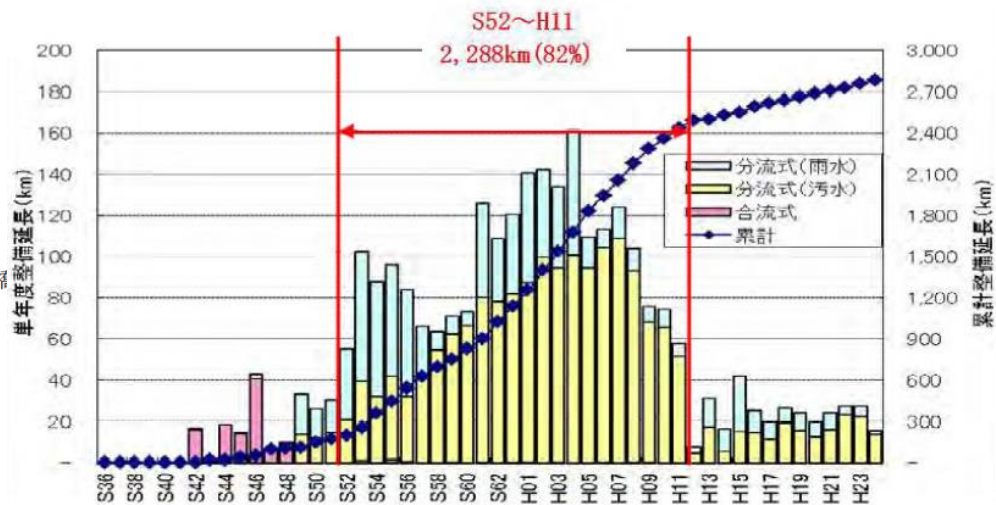
### 橋りょうの架設状況



- ・1960年代～1980年代の30年間に建設した橋が全体の6割(404橋)
- ・20年後には約7割の470橋が建設後50年を経過した高齢化橋りょうとなる。

【相模原市橋りょう長寿命化修繕計画】

### 下水道管路の整備状況



- ・管路整備は昭和42年(1967年)に事業着手し昭和52年(1977年)頃から急増。
- ・平成39年(2027年)以降、管の耐用年数50年を迎える管路が急増する見込み。

【相模原市下水道施設維持管理計画】

## 2. 本市の公共施設マネジメントの取組

## 2. 本市の公共施設マネジメントの取組

### (1) 公共施設（公共建築物）の取組

試算ではピーク時に公共建築物の6割程度しか改修・更新ができない⇒4割相当のコスト削減が必要

公共施設の保全・利活用基本指針(H25.10月策定)

#### 公共施設マネジメントの基本方針

方針1 サービス・機能の必要性に応じたサービス提供の適正化

方針2 サービス提供に利用する施設の適正化

方針3 建物を将来にわたり安全で快適な状態に維持し、将来コストの平準化を図るための適切な予防保全の実施

方針4 民間委託等の適切な手法を活用した、効率的・効果的な管理運営

方針5 受益と負担の適正化、市民や地域との協働の推進

方針6 市民の便益向上や収益確保を図るための未利用資産の活用

方針7 専管組織の設置など、全庁的・総合的な観点から公共施設マネジメントを実施するための環境整備

#### コストの削減可能性の試算

改修パターンの見直し  
(学校や小規模施設の改修内容の見直し)  
効果額の試算:14.4億円

延床面積を削減  
※数値目標20%  
(人口動向に応じた削減、単独施設の複合化、経常経費の削減)  
効果額の試算:50.4億円

民間活力の活用  
効果額の試算:8.4億円

効果額の合計:73.2億円⇒  
改修・更新コストの40%に相当

#### 具体的な取組

- 長寿命化計画に基づく取組  
(※H31年度策定予定)
  - ・計画的な維持保全(予防保全)
  - ・優先順位付け(施設・対策)
- 公共施設マネジメント推進プランに基づく施設総量の削減
  - ・更新等の時期を捉えた複合化、多機能化、集約化、民間移管、地域への譲渡、廃止
- 公民連携の推進
  - ・サービス提供(業務委託、指定管理、労働者派遣)、施設管理(点検・維持保全)、施設整備(PFI、リース)、未利用資産の活用
  - ・公民連携地域プラットフォーム
  - ・サウンディング型市場調査
- 受益者負担の適正化
- 未利用資産の活用
- 庁内体制や仕組みの構築
  - ・資産情報の一元化、効率的な資産管理

## 2. 本市の公共施設マネジメントの取組

### (2) 土木施設の取組

相模原市土木施設維持管理基本方針 (H25.12月策定)

#### 土木施設維持管理における4つの柱

① 最適な管理方法への転換によるライフサイクルコストの縮減

② 限られた予算の中で選択と集中による維持管理を実施

③ データを活用した効率的な管理

④ 段階的な導入と改善によるマネジメントの継続

#### 予防保全的な管理への転換による効果

○対症療法的管理から予防保全型などの最適な維持管理手法への転換

効果額:約1,420億円(50年)  
〔従来の管理による試算:50年間で約5,470億円〕-〔予防保全型など最適な維持管理手法による試算:約4,050億円〕

#### 具体的な取組

各個別施設計画に共通の取組

- 維持管理区分(管理手法)の設定  
…「予防保全」「事後保全」「観察型」など
- メンテナンスサイクルによる計画的な維持管理の実施  
メンテナンスサイクル…
  - ・「点検」…施設に応じた定期的な点検
  - ・「診断」…点検結果に基づく必要な措置を判断
  - ・「措置」…優先度評価に基づく修繕等の実施
  - ・「記録」…点検結果や対策履歴など、維持管理に必要なデータを記録・蓄積

#### 個別施設計画

「道路(舗装道路、トンネル等)」…相模原市道路施設長寿命化修繕計画(H28.3月)

「橋りょう」…相模原市橋りょう長寿命化修繕計画(H29.9月)

「河川」…相模原市河川維持管理計画(H29.3月)

「下水道」…相模原市下水道施設維持管理計画(H26.3月)

(公民連携の推進)

## 3. 今後の取組の方向性



# <参考> 複合化の事例



## 相武台まちづくりセンター・相武台公民館移転整備事業

- ・統廃合により廃校となった旧磯野台小学校校舎を改修し、「相武台まちづくりセンター」「相武台公民館」「相武台高齢者支援センター」を移転し複合整備（H28.年9月開設）
- ・移転前の旧公民館とまちづくりセンター跡地は売却予定
- ・(財)相模原市健康福祉財団が運営する「相模原看護専門学校」に有償貸付（H15年～）



位置：南区新磯野4-1-3  
構造：鉄筋コンクリート造 地上3階（一部2階）  
敷地面積：3,830.69㎡  
延床面積：2,210.42㎡

駐車台数 40台（現施設 20台）バイク置場も整備

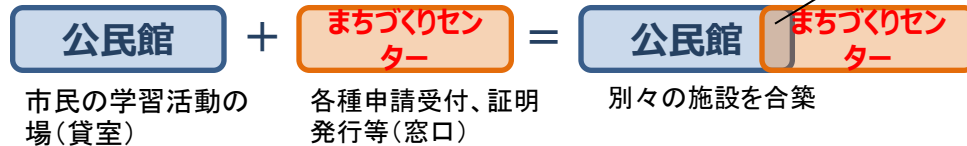
# 3. 今後の取組の方向性

## 施設総量を削減して将来も「機能」「サービス」を維持

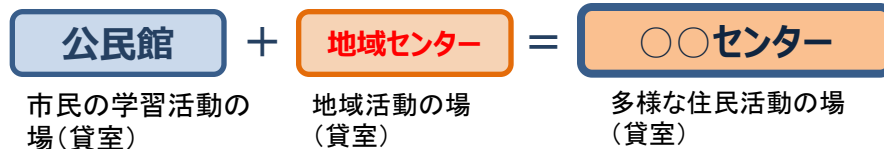
施設をなくすのではなく、総量を減らす工夫をして将来も「機能」「サービス」を維持していく

<例>

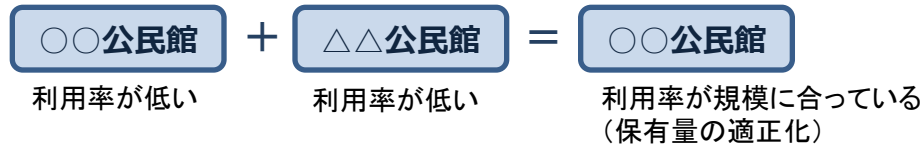
**複合化** …設置目的が異なる施設を一つの建物に整備



**多機能化** …設置目的が異なる施設を、両方の機能を合わせ持つ一つの施設として整備



**集約化** …設置目的が同じ施設を集約(統廃合)して整備



- 期待する効果
  - ・サービスの適正化
  - ・保有量の適正化
  - ・利便性の向上
  - ・利用者間の交流
  - ・維持管理コストの削減
  - ・未利用資産の活用 など
- 課題
  - ・市民、利用者の理解
  - ・管理運営の整理・明確化 など

民間の発想、サービス、  
専門知識・技術など

- 期待する効果
  - ・利用者の安全の確保
  - ・維持管理コストの削減
  - ・施設全体のコストの平準化 など
- 課題
  - ・職員の専門知識が不足
  - ・保全に関わる技術職員が不足
  - ・保全に要する財源が不足 など

## 計画的な維持管理と施設の長寿命化

長寿命化計画 (H31年度策定予定) に基づく計画的な維持管理

- ・施設を予防保全型・事後保全型に分類
- ・優先順位の整理 (施設の重要度や物理的な劣化状況などを評価し、優先度の高い施設から修繕、改修、更新)
- ・限られた財源を効率的に配分し、計画的な維持管理の実施と施設の長寿命化

**御清聴ありがとうございました。**



潤水都市 さがみはら

**相模原市 企画財政局 企画部 経営監理課**

**042-769-9240**

**[keieikanri@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:keieikanri@city.sagamihara.kanagawa.jp)**